

## 平成28年度事業報告について

会長

渡邊 博昭

平成28年度もこれまでの会務を遂行するとともに、日臨技北日本支部医学検査学会（第5回）の運営を行った。本学会の一般演題数は130題であり、参加者数は約1,100名であった。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点が多々ありご迷惑をお掛けしたと思います。しかしながら無事に終えましたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと感謝いたします。

平成28年度の事業の概要を下記の通り報告する。

### 総務部

- ① 平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。
- ② 会計士の指導の下、会計の見直しを行った。
- ③ 表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

### 学術部

1. 日臨技北日本支部医学検査学会（第5回）を開催した。
2. 精度管理事業は、日臨技のシステムを使用して事業を行った。
3. 検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金に対して19研修会の申請を行った。

### 広報部

- ① 会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応を行った。

## 1. 通常総会の開催

平成28年5月22日（日）新潟ユニゾンプラザにおいて平成28年度通常総会を開催し、平成27年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり、また、平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）が提案され、特に質疑はなく拍手で承認された。

## 2. 会務の執行体制

### 1) 職務分担

平成28年度は役員任期の後期にあたったが、前年同様に学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

### 2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

## 3. 諸会議の開催

- |        |      |             |                      |
|--------|------|-------------|----------------------|
| 1) 理事会 | 第1回  | 平成28年4月16日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第2回  | 平成28年5月22日  | (新潟ユニゾンプラザ4F会議室)     |
|        | 第3回  | 平成28年6月18日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第4回  | 平成28年7月9日   | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第5回  | 平成28年8月27日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第6回  | 平成28年9月24日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第7回  | 平成28年10月29日 | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第8回  | 平成28年12月17日 | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第9回  | 平成29年1月21日  | (駅南貸会議室 KENTO RoomA) |
|        | 第10回 | 平成29年2月18日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |
|        | 第11回 | 平成29年3月18日  | (新潟県公社総合ビル3F会議室)     |

### 2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成28年度は1回開催した。

### 3) 三役会議

急な協議事項等についてはメール等を利用し協議を行ない、特に三役会議は開催しなかった。

### 4) 各種委員会の開催

#### (1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第299号から第302号の編集業務のため、4回開催した。

#### (2) ホームページ委員会

会員への情報伝達手段としてホームページの充実と運用に努めた。

#### (3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため1回開催した。

#### (4) 生涯教育研修委員会

理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

#### (5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため6回開催した。

#### (6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため1回開催した。

#### 4. 組織対策

##### 1) 入会対策

会員数の多い年代が定年を迎え会員数の減少が懸念されるが、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めた。

本年度の新入会および再入会の会員数は80名。

本会の正会員総数は1,339名。(平成29年3月現在)

社会的地位向上および今後の業務拡大の為に、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

##### 2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

#### 5. 地域保健医療活動および公益事業

##### 1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画

##### 2) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力(6月12日)

##### 3) 父の日企画「家族で守ろうパパの健康チェック」へ中越支部が共催団体として参画(6月19日)

##### 4) 中越沖地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(柏崎市 7月16~17日)

##### 5) すこやかたもしびまつりへ中越支部が共催団体として参画(9月17・18日)

##### 6) 健康寿命延伸フォーラムに参画(9月22日)

##### 7) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画(10月1日)

##### 8) ピンクリボンホリデー2016へ新潟県臨床検査技師会として参画(10月16日)

##### 9) 第16回新潟市健康福祉まつりへ共催団体として参画(10月16日)

##### 10) 糖尿病を知る集いへ血糖測定で協力(10月22日)

##### 11) 無料 HbA1c 測定会(新潟駅南キャンパスときめいと)を実施(11月12日)

##### 12) 世界糖尿病デーin 長岡2016へ中越支部が参画(11月13日)

##### 13) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力(11月12日)

##### 14) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(小千谷市 10月29~30日)

##### 15) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力(十日町市 11月27日)

#### 6. 求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

#### 7. 災害関係

災害支援活動や会員の安否確認に威力を発揮する災害支援ネットワークに賛同と登録をお願いした。登録者は72名(平成29年3月現在)となった。

#### 8. 表彰関係(敬称略)

##### 1) 第34回篠川至賞(篠川至賞選考委員会を経て平成28年5月22日通常総会にて表彰)

功 勞 部 門 伊 藤 剛 栄(新潟支部)

学 術 部 門 芳 賀 博 子(中越支部)

##### 2) 平成28年度功労者表彰(平成28年5月22日通常総会にて表彰)

(1) 永年会員功労者表彰 該当者44名

(2) 特別功労者表彰 筑 波 聡(上越支部) 芳 賀 博 子(中越支部)

小 林 宏 一(下越支部) 渡 邊 博 昭(新潟支部)

##### 3) 平成28年度生涯教育履修表彰(平成28年5月22日通常総会にて表彰)

奨 励 賞 桑 原 喜久男(済生会三条病院) 760点

坂 西 清(魚沼基幹病院) 360点

- 菅原 芳 秋 (日本歯科大学医科病院) 360点  
 林 真 也 (新潟県立中央病院) 350点  
 新 人 賞 齋 藤 温 (新潟大学歯学総合病院) 310点  
 4) 第5回日臨技北日本支部医学検査学会テーマ賞 (平成28年5月22日通常総会にて表彰)  
 小 林 浩 二 (北里大学保健衛生専門学院)

学術部	副会長 桑原 喜久男
-----	------------

平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会第5回開催という大きな事業を中心に検査研究部門活動、精度管理事業、生涯教育を活動の根幹として1年間活動を行った。

## 1. 学会 桑原 喜久男

平成28年10月1日、2日に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて、平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会第5回を開催した。学会テーマは、「次世代医療の扉を開く Toki」～臨床検査イノベーション～として、一般演題130題、特別講演1、教育講演9、教育カンファレンス2、シンポジウム1、パネルディスカッション1、日臨技企画シンポジウム1、新潟県内の臨床県技師育成校4校との共催パネルディスカッション1、ランチョンセミナー14が行われ、北日本支部1道、7県より会員768名、賛助会員55名、学生262名、合計1,085名の参加を頂いた。本学会の特徴は大きく2点あり、1つは臨床検査技師を目指す学生に学術集会に参加・聴講するだけでなく、指導教諭と研究した成果を8演題発表していただいたことである。また、求められる臨床検査技師像～現場の思い・学生の思い～をテーマにパネルディスカッションを行い、新人技師を受け入れる施設としてどのような学生を求めているのか、就職した技師からのアドバイス等に多くの学生が熱心にメモを取り熱気あふれるシンポジウムとなった。もう1点、日臨技が推し進める病棟業務についての一般演題、シンポジウムが行われ、多くの会員よりご参加いただき、活発な意見交換が行われた。臨床検査技師が病棟においての活動をどのように取り組んでいくのか、その方向性、可能性について多くの会員が興味を寄せていることが伺えた。メインテーマの『次世代医療の扉を開く Toki』に沿い、今後の臨床検査技師が向かうイノベーションの方向性、可能性を示すことのできた学会となったと考える。

## 2. 検査研究部門 池亀 央嗣

平成28年度は、検査研究部門の組織再編が行われた最初の任期の終了年であった。一昨年度までは、6部門、13分野の構成で運営されてきたが、平成27年度から9部門3分野(生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門、臨床検査総合部門の9部門であり、臨床生理部門は、神経生理分野、循環生理・呼吸生理分野、超音波分野の3分野から成る)に再編された。このうち、生物化学分析部門は、旧臨床化学分野と旧免疫血清分野が、病理細胞部門は、旧病理分野と旧細胞分野が、臨床検査総合部門は、旧疫学・公衆衛生分野と旧管理運営分野がそれぞれ統合された。旧生体機能分野は、神経生理分野と循環生理・呼吸生理分野に分割された。その他の部門は、概ね旧分野からそのままの移行となった。部門構成人員も各部門6名、分野は4名となった。また、活動費もこれまでの各分野8万円から、各部門12万円・各分野8万円に変更された。

検査研究部門が開催した研修会は、合計19回開催された(昨年度19回、一昨年度22回)。研修会数は、昨年度と同じで、再編前の22回に比して減っているが、今年度は平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会(第5回)の開催があったことにも関わらず19回を保持したことは各部門の努力の賜物と思われる。

研修会の内容では、臨床生理部門は、2日間に渡る研修会や実技研修を積極的に開催し、非常に多くの参加者を得た。臨床一般部門、臨床血液部門、輸血細胞治療部門も実技実習を積極的に取り入れ、研修レベルを初心者・中堅者別など、細部まで行き届いた形式を設けた。他団体や他学会との共催も多く、他職種と合同での

研修会も開催された。

実習形式の導入や他団体との合同企画、積極的なアイデアなどがあり、平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会（第5回）でも各部門が総力を挙げて企画・運営に当たった。この2期4年間は、第63回日本医学検査学会、平成28年度日本臨床衛生検査技師会北日本支部医学検査学会（第5回）と大きな学会が続いたがこれらの経験を各部門における学術活動に生かしてもらいたい。

### 検査研究部門の研修会

部門	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
生物化学分析	平成28年 11月12日（土）	専門20	25	0	【生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会第13回研修会／新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門合同研修会】 講演：「はじめの統計学的仮説検定」 北里大学保健衛生専門学校 小林 浩二 先生 会場：北里大学保健衛生専門学校 北里ホール情報センター *生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会と共催
	平成29年 3月4日（土）	専門20	21	1	【新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門第47回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会合同研修会】 1. 「電気泳動によるリボ蛋白分画の基礎と応用」 株式会社ヘレナ研究所営業部 宮下 真一 先生 2. 「検査データから読み解く脂質異常症」 順天堂大学大学院医学研究科臨床病態検査医学 三井田 孝 先生 会場：新潟大学医学部 第4講義室 *日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会と共催
臨床一般	平成28年 5月21日（土）	専門20	68	3	【平成28年度第1回新臨床臨床一般部門研修会】 1. 集まれ！一般検査室の異型細胞その①尿沈渣 国立病院機構東近江総合医療センター研究検査科 佐伯 仁志 先生 2. 腎臓超音波検査と尿検査の関連 長岡赤十字病院検査技術課 丸山千恵子 先生 3. 何が変わった？髄液検査 弘前市立病院臨床検査科 石山 雅大 先生 4. AKIの新規バイオマーカー尿中 NGAL の意義 アボットジャパン株式会社学術情報室 青木 和雄 先生 5. これから変わる？体腔液検査 弘前市立病院臨床検査科 石山 雅大 先生 6. 集まれ！一般検査室の異型細胞その②体腔液 国立病院機構東近江総合医療センター研究検査科 佐伯 仁志 先生 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室
	平成28年 10月15日（土）	専門20	23	1	【平成28年度第2回臨床一般部門研修会（実技研修会）】 顕微鏡の使用法、基礎成分解説、顕微鏡写真撮影方法、鏡検実習 会場：新潟医療技術専門学校 A棟2階第3実習室
	平成28年 11月20日（日）	専門20	26	3	【平成28年度第3回新臨床臨床一般部門 新潟支部一般検査研究班合同研修会】 学会・研修会参加報告 新潟医療技術専門学校 白川千恵子 先生 労働衛生医学協会新潟ウェルネス 計良 政裕 先生 講演1：尿化学検査の基礎から尿中バイオマーカーの動向まで 慶應義塾大学病院中央臨床検査部 石澤 毅士 先生 講演2：症例データをどう考えるか 慶應義塾大学医学部臨床検査医学 菊池 春人 先生 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室
	平成28年 8月27日（土）	専門20	36	0	【臨床血液部門 実技研修会】 基本的な血液細胞観察の仕方と鏡検実習および症例解説 解説・指導：臨床血液部門 部門員 会場：新潟医療技術専門学校 A棟2階 第3実習室
臨床血液	平成29年 1月21日（土）	専門20	31	2	【臨床血液部門研修会】 「好中球系細胞の新分類基準」 「各施設における体腔液検査の実際」 済生会新潟第二病院 小野 篤史 先生 新潟大学医学部総合病院 堀川 良則 先生 新潟県立新発田病院 水野 祐子 先生 「血液検査からみた体腔液検査」 獨協医科大学病院臨床検査センター 新保 敬 先生 会場：新潟大学医学部総合病院 12階 大会議室
	平成29年 2月11日（土）	専門20	45	1	【平成28年度 新臨床臨床微生物部門研修会】 講演：抗酸菌症の診断・治療 update 進歩と限界について 国立病院機構西新潟中央病院 桑原 克弘 先生 講演：解説抗酸菌検査ガイド2016 京都大学医学部附属病院検査部 樋口 武史 先生 会場：新潟大学駅南キャンパス ときめいと 講義室 A, B

輸血・細胞治療	平成28年 6月18日 (土)	専門20	90 (賛助会 員：2)	0	<p>【輸血細胞治療部門研修会】 魚沼基幹病院検査科見学 第64回日本輸血・細胞治療学会総会参加報告 報告者：新潟県立中央病院 高橋 政江 先生 新潟県立がんセンター新潟病院 見辺 典子 先生</p> <p>講演1「輸血検査の基礎知識」 北里大学保健衛生専門学院 笹岡 悠一 先生</p> <p>講演2「検査室でできる亜型検査」 講師新潟県赤十字血液センター学術・品質情報課 古俣 妙 先生</p> <p>会場：魚沼基幹病院 1階 講堂</p>
	平成28年 7月24日 (土)	専門20	57	0	<p>【平成28年度 輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会】 ＜基礎コース＞ 血液型、不規則抗体検査を実施し、凝集の見方、試験管の振り方等、初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者、初級レベルの方が対象 ＜認定および技能維持コース＞ 血液型、不規則抗体検査、抗体解離試験等を実施し、総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や、ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方が対象 会場：新潟医療福祉大学 第6研究棟</p>
病理細胞	平成28年 7月2日 (土)	専門20	39	0 (学生 2)	<p>【第38回新潟病理技術研究会（病理細胞部門共催）】 情報紹介： ハイクロソフト水生成装置の紹介 自井松機器株式会社 齋藤 靖宏 先生 病理システム「バントピア」とスライド、カセットプリンターの紹介 武藤化学株式会社 吉川 祐援 先生</p> <p>教育講演： 「病理の医療安全について」 聖マリアンナ医科大学病院病理診断科 島田 直樹 先生</p> <p>特集 病理解剖について： 「病理解剖業務の実際と注意点（仮）」 新潟医療センター 内藤 員 先生</p> <p>剖検介助業務の実際と一工夫 新潟医療センター 長谷川秀浩 先生 信楽園病院 坂本 直喜 先生 新潟市民病院 樋口 忠博 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 西館3階 第2検討室 *新潟支部病理検査研究班と共催</p>
	平成28年 10月22日	専門20	56	6 (学生 2)	<p>【平成28年度病理細胞部門研修会】 教育講演： 「増え続ける中皮腫～病理診断の難しさ～」 東京女子医科大学八千代医療センター病理診断科 廣島 健三 先生</p> <p>技術講演： 「中皮腫細胞診の現状とこれから」 公立昭和病院病理診断科 濱川 真治 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室 *新潟県細胞検査士会、新潟支部病理検査研究班と共催</p>
染色体・遺伝子	平成28年 11月12日	専門20	24	4	<p>【平成28年度染色体・遺伝子部門研修会】 技術講演： 「臨床検体からの核酸抽出（原理、コツ）」 ロシユ・ダイアグノスティックス㈱ 高橋 邦明 先生</p> <p>教育講演： 「血小板によるがん転移促進機構とそれを標的とした新規治療法の開発」 がん研究所がん化学療法センター 竹本 愛 先生</p> <p>ミニ解説： 「当院における腫瘍関連遺伝子変異検査」 長岡赤十字病院 高頭 秀吉 先生</p> <p>会場：新潟大学医学部 第4講義室</p>
臨床生理	平成28年 6月26日 (日)	専門20	65	7	<p>【臨床生理部門研修会生理検査基礎セミナー】 レクチャー： 1. 呼吸機能検査 新潟大学医学部保健学科 齋藤 修 先生</p> <p>2. 心電図 新潟県立中央病院 宮崎 智美 先生</p> <p>3. 生理検査に役立つ血液データの見方 済生会三条病院 桑原喜久男 先生</p> <p>教育講演： 「心不全の病態と治療」 新潟大学医歯学総合病院 循環器内科 柏村 健 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室</p>

	平成28年 8月27日(土): 新潟会場 8月28日(日): 長岡会場	専門20	41	1	【平成28年度超音波実技セミナー】 心臓・腹部・血管領域をHands-On形式で行う実技研修 心臓超音波:基本断面の走査法、装置の設定、心機能計測法など 新潟大学 齋藤 修 先生 厚生連新潟医療センター 三富 圭 先生 腹部超音波:基本断面の走査法、装置の設定など 新潟県立中央病院 宮崎 智美 先生 新潟県労働衛生医学協会新潟健康増進センター 若林 佳美 先生 血管超音波:下肢静脈・DVTの標準的検査法 魚沼基幹病院 瀧澤 瑞美 先生 新潟会場:新潟大学医学総合病院 12階 大会議室 長岡会場:厚生連長岡中央総合病院 2階 講堂
	平成28年 12月4日(日)	専門20	25	4	【平成28年度超音波検査士対策セミナー】 「超音波検査に必要な物理学的基礎知識」 東芝メディカルシステムズ営業本部超音波営業部 浜田 聡明 先生 会場:新潟大学医学総合病院 12階 大会議室
	平成29年 3月18日(土)	専門20	63	2	【臨床生理部門神経生理分野・新潟支部生理研究班共催研修会 神経生理検査セミナー】 講演1:「脳波計のABC」 日本光電北関東病院営業部検査ソリューション課 斎藤 昌伸 先生 講演2:「脳波の電極装着から記録法」 自治医科大学附属病院臨床検査部 柳田 浩己 先生 講演3:「脳波波形の見方と報告」 東邦大学医療センター大森病院臨床生理機能検査部 杉山 邦男 先生 会場:新潟大学医学総合病院 12階 大会議室
臨床検査総合	平成28年 5月14日(土)	専門20	24 (賛助会 員:2)	0	【臨床検査総合部門管理運営研修会】 「診療報酬改定について～検査部門を中心に～」 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 営業部門ラボソリューショングループ東日本チーム 井汲 善浩 先生 「教えて?検査部門でのISO15189取得前と取得後の検査室」 東京医科歯科大学医学部附属病院 萩原三千男 先生 会場:立川総合病院多目的施設きぼう 3階 講堂
	平成28年 12月10日(土)	専門20	24	5	【平成28年度臨床検査総合部門(公衆衛生)研修会】 「免疫検査における感染症項目の注意点」 富士レボオ株式会社北関東支店学術サービス部 福田雅之助 先生 「A型肝炎とE型肝炎の動向と対策について」 国立感染症研究所ウイルス第二部 石井 孝司 先生 会場:コープシティ花園「ガレツ」4階 会議室

### 3. 精度管理事業

坂西 清

今年度も新潟県から新潟県医師会への委託事業である第37回平成28年度新潟県臨床検査精度管理調査会を新潟県臨床検査技師会として行った。この事業は技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計6回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

本年度も感染症実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。臨床化学は昨年同様27項目で実施した。調査試料は低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。今年度より、評価基準を、(一社)日本臨床衛生検査技師会精度管理調査と同じ評価方法で行った。ただし、本年度も試料11にヒトプール血清を使用しているため、ALT、Creにおいて低濃度となったため暫定的に評価基準を目標値±10%とした。LDは、ばらつきが確認されたため暫定的に±5%とした。また、Na、及びClは日本臨床衛生検査技師会精度管理調査と同様に評価B以下の基準を変更した。KはBAが1.9%あるが、規格の運用において、「測定値が小さく、目標値×BA(%)の値、あるいは目標値×5%(許容誤差限界上限)の値が、日常報告している結果報告桁数の最小単位未満となる項目は結果報告桁数の最小幅の2倍を許容誤差限界とするを推奨する。」となっていることから目標値±0.2mEq/Lとした。

なお、尿素窒素はReCCSの標準物質の認証値は内因性のアンモニアを含んでいないことからアンモニア消去(回避)法以外の測定方法、そしてCKのアキュラスオート(シノテスト)は市販ヒト由来管理血清である試料12の反応性が異なることから、また測定方法未記入等は目標値の設定が不可能であるため評価対象外とした。

ドライケミストリー法はNa、K、Clはドライケミストリー法以外の方法と同様の評価基準としたが、それ

以外の評価項目はマトリックスの影響を受けやすいため、評価 B を1.5倍（目標値±7.5%）に広げた。

また、集計に用いた精度管理用システム（JAMTQC）は5施設以下の集団の統計処理、および目標値の設定が不可能であるため、方法別および試薬別に目標値を設定した項目で5施設以下の場合には評価を「施設別報告書」に反映させさせることが不可能となり、「対象外」の表記になる事から目標値を参考に自施設の正確度の判断をお願いした。また、今年度は、HbA1cの調査に低値・高値の2濃度とも市販の管理試料を利用した。結果として報告値で反応性による測定法差、メーカー差がでてきており、測定試料と各メーカーの測定法で格差が出てきている事から、次年度は委員会にて熟慮したうえで、今後の方向性を決めていくこととしたい。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に今年度より、日本臨床衛生検査技師会の精度管理システムを使用し、Web報告を実施し、特に問題なく報告作業は行われたが、まだ不備がある事から、日臨技との連携を密にして改善できることは改善していきたい。

精度管理調査事業の内容は以下のとおりである。

1. 試料の到着 臨床化学は平成28年10月24日（月）に到着予定です。
2. 測定日 サンプル到着後、可能な範囲で速やかに実施してください。
3. 測定項目

1) 臨床化学 ※生化学試料：冷凍試料 ・HbA1c 試料：冷凍試料

グルコース (Glu), ヘモグロビン A1c (HbA1c), 総ビリルビン (TB), ナトリウム (Na), カリウム (K), クロール (Cl), カルシウム (Ca), 無機リン (IP), 鉄 (Fe), マグネシウム (Mg), 総蛋白 (TP), アルブミン (Alb), C 反応性蛋白 (CRP), 尿酸 (UA), 尿素窒素 (UN), クレアチニン (Cre), 総コレステロール (TC), 中性脂肪 (TG), HDL- コレステロール (HDLC), LDL- コレステロール (LDLC), アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST), アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT), アルカリフォスファターゼ (ALP), 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD), アミラーゼ (AMY), クレアチンキナーゼ (CK),  $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT), コリンエステラーゼ (ChE) の28項目。

ドライケミストリー法は本年度も無機リン (IP), 総ビリルビン (TB) を実施しますが、参加は選択可能とします。また、LDL- コレステロール (LDLC) は実施しません。

2) 血液 ※血液試料：冷蔵試料

CBC 5項目（ヘモグロビン濃度, 血小板数, 白血球数, 赤血球数, ヘマトクリット値）

4. 測定方法

各施設で使用している試薬, 機器を用いて測定してください。

測定回数はルーチン検査と同様, 「1回測定」の測定値をご報告ください。

また, 他施設の情報を得ることは禁止します。

5. サンプル及び取り扱い

1) 臨床化学

※ドライケミストリー法は専用のサンプル13, 14を測定してください。

試料	測定項目	取扱い上の注意
11	グルコース (Glu), 総ビリルビン (TB), ナトリウム (Na), カリウム (K), クロール (Cl), カルシウム (Ca), 無機リン (IP), 鉄 (Fe), マグネシウム (Mg), 総蛋白 (TP), アルブミン (Alb), C 反応性蛋白 (CRP), 尿酸 (UA), 尿素窒素 (UN), クレアチニン (Cre), 総コレステロール (TC), 中性脂肪 (TG), HDL- コレステロール (HDLC)	ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合, できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また, 感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
12	LDL- コレステロール (LDLC), アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST), アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT), アルカリフォスファターゼ (ALP), 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD), アミラーゼ (AMY), クレアチンキナーゼ (CK), $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT), コリンエステラーゼ (ChE)	ヒト血清由来凍結品です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合, できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また, 感染性の安全はできる範囲で確認済みですが, 取り扱いには十分注意してください。



13 (DRY I) 14 (DRY II) ※ドライケミストリー法専用	グルコース (Glu), ナトリウム (Na), カリウム (K), クロール (Cl), カルシウム (Ca), 鉄 (Fe), マグネシウム (Mg), 総蛋白 (TP), アルブミン (Alb), C 反応性蛋白 (CRP), 尿酸 (UA), 尿素窒素 (UN), クレアチニン (Cre), 総コレステロール (TC), 中性脂肪 (TG), HDL- コレステロール (HDL), LDL- コレステロール (LDL), アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST), アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT), アルカリフォスファターゼ (ALP), 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD), アミラーゼ (AMY), クレアチンキナーゼ (CK), $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT), コリンエステラーゼ (ChE)	ヒト血清です。サンプル到着後は-40℃以下に凍結保存してください。不可能な場合、できるだけ速やかに測定してください。測定時は流水中で融解してください。また、感染性の確認はしてありません。取り扱いには十分注意してください。
17・18	ヘモグロビン A1c (HbA1c)	市販コントロールです。ヘモグロビン濃度は約10mg/dLです。通常の検体と同様に各種測定法での希釈方法にて希釈していただき、希釈測定をお願いいたします。(HPLC 法で使用する場合、装置メーカー指定の溶血剤または精製水で121倍程度に希釈してご使用ください。HPLC 法以外の測定法の場合は患者検体と同様に処理して測定してください。ただし、血球層から検体を採取する測定法の場合は試薬メーカー指定の溶血剤で、41倍程度(検体の希釈が101倍の場合)に希釈して測定してください。)感染性の安全はできる範囲で確認済みですが、取り扱いには十分注意してください。また、サンプル到着後は冷凍保存し、できるだけ速やかに測定してください

## 2) 血液

試料	測定項目	取扱い上の注意
11	ヘモグロビン濃度, 血小板数, 白血球数, 赤血球数, ヘマトクリット値	市販管理血球です。サンプル到着後は冷蔵保存してください。 <b>〔凍結厳禁〕</b> 感染性の完全な否定はできませんので、取り扱いには十分注意してください。 〔装置の測定条件〕 マニュアルとクローズドの測定モードがある場合、マニュアルモードで測定してください。 (1) 患者検体を測定するモードで測定してください。 (2) CBCのみ(白血球分画等なし)のモードで測定をお願いします。CBCのみにできない機種はそのまま測定してください。なお、赤芽球等を白血球から除外する機能を有する機種の場合、除外前の白血球数で報告してください。 (3) ヘモグロビン測定において、シアンを用いるか用いないかの方法選択ができる機種については、通常業務で用いている方法で行ってください。 〔試料の準備と測定〕 室温に15分間静置後、静かに転倒混和ときりもみを繰り返し行い、十分に混和してください。 <b>〔激しく振ることは絶対に避けてください〕</b> よく混和された状態で、直ちに測定してください。 報告値については、「測定機種に依存する注意事項について」を参照してください。

6. 成績報告締切：平成28年10月31日(月)

7. 報告(臨床化学・血液)

日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会のHPよりJAMT QCに入っていた  
だき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします。

8. 参加費 昨年までと同様に無料です。

9. 目標値と評価基準について

### 1) 臨床化学

グルコース (Glu), ナトリウム (Na), カリウム (K), クロール (Cl), カルシウム (Ca), 尿酸 (UA), 尿素窒素 (UN), クレアチニン (Cre), 総コレステロール (TC), 中性脂肪 (TG), HDL- コレステロール (HDL), LDL- コレステロール (LDL), アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST), アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT), アルカリフォスファターゼ (ALP), 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD), アミラーゼ (AMY), クレアチンキナーゼ (CK),  $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT), コリンエステラーゼ (ChE), ヘモグロビン A1c (HbA1c) は次頁の表の標準物質及び測定方法で目標値を設定し、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準に準じて評価を行います。HDL- コレステロール (HDL), LDL- コレステロール (LDL) は測定試薬別に評価を行います。ドライケミストリー法も同様に評価を行います。日本臨床衛生検査技師会精度管理調査の評価基準を以下に示します。ただし、反応性等に問題が確認された場合、変更する場合があります。総ビリルビン (TB), 無機リン (IP), 鉄 (Fe), マグネシウム (Mg), 総蛋白 (TP), アルブミン (Alb), C 反応性蛋白 (CRP) は評価せず、単純集計のみを実施します。

【日本臨床衛生検査技師会臨床化学部門評価基準】

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対して以下に示す評価幅を加え評価基準とする。

評価 A：「基準」を満たし、優れている

目標値±生理的変動を基に算出した施設間の許容誤差限界 (analytical bias, BA) \*<sup>1)</sup> 内の報告値。健康人の生理的変動幅から算出され、項目によっては大きな数値となっているため、上限を5%に設定した。

\*<sup>1)</sup> BA：日本臨床化学会クオリティマネジメント専門委員会：生理的機変動に基づいた臨床化学検査36項目における測定の許容誤差限界、臨床化学2006；35：144-153

評価 B：「基準」を満たしている

目標値±体外診の性能確認幅\*<sup>2)</sup> 内の報告値。但し、現状の取束状況を考慮し上限を5%と設定した。

\*<sup>2)</sup> 体外診の性能確認幅：平成9年の医薬発139号の厚生省医薬安全局長通知（体外診断用医薬品の取扱いについて）、医薬審第181号の医薬安全局長管理課長通知、厚生省医薬安全局審査管理課事務連絡（体外診断用医薬品の申請の際の性能の確認について）、等の許容測定変動係数（範囲）に準じた

評価 C：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価 B の幅を超え、この幅の最大1.5倍までの報告値。

評価 D：「基準」を満たしておらず改善が必要

目標値±評価 C の幅を超えた報告値。

臨床化学目標値設定方法と評価基準

項目	単位	標準物質	測定方法	評価基準
グルコース (Glu)	mg/dL	ReCCS 標準品	ヘキソキナーゼ法、電極法	目標値±2.3%
ナトリウム (Na)	mEq/L		電極法	目標値±2 mEq/L
カリウム (K)	mEq/L		電極法	目標値±0.15mEq/L
クロール (Cl)	mEq/L		電極法	目標値±2 mEq/L
カルシウム (Ca)	mg/dL		各種測定方法	目標値±1%
尿酸 (UA)	mg/dL		ウリカーゼ・POD法	目標値±5%
尿素窒素 (UN)	mg/dL		アンモニア消去法	目標値±5%
クレアチニン (Cre)	mg/dL		酵素法	目標値±5%
総コレステロール (TC)	mg/dL		酵素法	目標値±4.5%
中性脂肪 (TG)	mg/dL		酵素法 (FG 消去)	目標値±5%
HDL-コレステロール (HDL-C)	mg/dL		各社直接法	目標値±5%
LDL-コレステロール (LDL-C)	mg/dL		各社直接法	目標値±5%
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	U/L		JCCLS CRM001	JSCC (JCCLS) 自動化法
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%
アルカリフォスファターゼ (ALP)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±3.9%
アミラーゼ (AMY)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%
クレアチンキナーゼ (CK)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%
γ-グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)	U/L	JSCC (JCCLS) 自動化法		目標値±5%
コリンエステラーゼ (ChE)	U/L	JCCLS CRM002	JSCC (JCCLS) 自動化法	目標値±4.7%
ヘモグロビン A1c (HbA1c)	%	JCCRM411	HPLC 法	目標値±5%

2) 血液

ヘモグロビン・血小板数・白血球数・赤血球数について、各メーカー製キャリブレーターにより校正が行われた装置で、測定の協力が得られた機種について、その値を目標値に設定し、機種別に評価基準に添って該当機種のサンプルについて評価を行いません。ヘモグロビン・白血球数・赤血球数に

ついて、評価基準は臨床的許容限界 JCCLS, 1994を基に設定しました。

血小板数については、試料の目標値が基準値下限付近であることから、他県の精度管理の状況を参考に設定しました。

ヘマトクリットは評価せず、単純集計のみ実施します。

#### 血液検査 評価基準

項目	単位	目標値設定装置	評価基準
ヘモグロビン	g/dL	ICSH CLSI の推奨する国際標準法にトレーサビリティが確保された各メーカーキャリブレーターにより校正された装置	目標値±3.6%
血小板数	×10 <sup>9</sup> /L		目標値±10.0%
白血球数	×10 <sup>9</sup> /L		目標値±5.6%
赤血球数	×10 <sup>12</sup> /L		目標値±4.1%

### 3) 一般フォトサーベイ

一般検査フォトサーベイを実施します。設問は12設問です。アンケートにもご協力ください。

#### 1 問題について

平成28年10月24日（月）から、「日臨技精度管理調査システム」より閲覧・ダウンロードが可能です。

#### 2 回答締切：平成28年10月31日（月）23：59

#### 3 回答方法

日臨技精度管理調査システムより、下記の要領で「平成28年度新臨技一般フォトサーベイ手引書」をダウンロードし、よく読んで回答してください。手引書には、設問集と、フォト集が入っていません。

### 4) 微生物（薬剤感受性）精度管理調査実施要項

#### 臨床検査精度管理協議会

- 1 検査開始日：試料を受取り次第、検査を開始してください。
- 2 検査項目：試料中に含まれる病原細菌のアンピシリン（ABPC）、テイコプラニン（TEIC）バンコマイシン（VCM）3薬剤について薬剤感受性検査を実施してください。
- 3 検査方法：各施設で日常的に行っている方法で実施してください。
- 4 試料：試料C（E. gallinarum）を用いて実施してください。
- 5 試料の取扱い：試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれていますので、取扱いには十分注意してください。
- 6 試料の調整：試料Cはカジトン培地にて保存してあります。  
※一旦、ハートインフュージョンブイオン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を釣菌してください。（栄研化学 ポアメディア® カジトン培地 添付文書より）
- 7 報告期限：平成28年11月11日（金）締め切り
- 8 報告方法：結果報告はWEB報告とします。

## 4. 生涯教育

近藤 善仁

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。日臨技より支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額は、19研修会・計759,000円を受け取ることができた。また、昨年度より日臨技情報総合システム（JAMTIS）が新システムとなったが、誤って旧システムで受付をした研修会がいくつかあった。テキストデータより手入力を行い、事なきを得たが、まだJAMTISの理解や操作に不慣れな状況であった。また、一部の会員から参加形式の誤りや参加登録漏れの指摘を受け、再登録処理を実施した。

今年度も、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけ、情報発信手段として安定した運営を目指し活動を行ってきた。新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。ホームページにおいては、一般社団法人 新潟県臨床検査技師会広告掲載内規をもとに、規律ある運営に努めて来た。会誌に関しては、技師個人にも焦点をあてて、親しみやすい内容から、学術的な内容まで幅広い内容の会誌発行を務めてきた。

1) 新臨技会誌

齋藤 功英

〔講義・研究〕は基礎的内容と話題性を主に力を入れてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力得て研修会の雰囲気など、研修会をより身近に感じ、参加を促す頁とした。〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～奮闘記〕などの掲載で、会員相互の親睦をはかり、誰でも参加できる企画にした。また〔公益活動報告〕を掲載することにより臨床検査技師の啓蒙活動を、多くの会員に知っていただけるような情報ツールとした。〔施設紹介〕では検査室を紹介し施設情報の共有を図った。年4回 季刊発行（299号から302号まで）

<平成28年度会誌掲載内容>

299号 平成28年4月1日

【講義】血球計測における流れ学への招待

新山 時弘

【研究】当院における甲状腺穿刺吸引細胞診鑑別困難例の検討

林 真也

【おしらせ】北日本学会

【研修会参加報告】

神経生理セミナー2015に参加して

渡邊 萌

臨床血液部門研修会に参加して

大澤 まみ

臨床検査総合部門（公衆衛生）研修会に参加して

昆 美也子

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会に参加して

金田恵美子

「検査と健康展」に参加して

渡邊 誠

第2回下越支部研修会に参加して

菊池 美紀

佐渡支部研修会に参加して

遠藤 恭平

【施設紹介】社会医療法人 新潟臨港保健会 新潟万代病院

伊藤 剛栄

【認定技師精度】細胞検査士

柳原 優香

【ペンリレー】

真嶋ちはる

【検査技師として～私の奮闘記～】

3年間を振り返って

丸山 修平

検査技師として～私の奮闘記～

西 大貴

検査技師として～私の奮闘記～

堤 恭子

【会報】

平成28年度第 通常総会議案書

平成27年度第4回 理事会議事録

平成27年度第5回 理事会議事録

平成27年度第6回 理事会議事録

平成27年度第1月常任理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

技師会日誌

【行事予定】

300号 平成28年7月1日

【あいさつ】 新年度 あいさつ

渡邊 博昭

【講 義】 病理／細胞診日常業務と遺伝子検査

薄田 浩幸

【施設紹介】 新潟白根総合病院

池田 正

【受賞者のことば】

篠川至賞を受賞して

芳賀 博子

篠川至賞を受賞して

伊藤 剛栄

生涯教育新人賞を受賞して

齋藤 温

【研修会参加報告】

下越支部研修会に参加して

鈴木 明

上越支部研修会に参加して

横田亜由美

新潟支部研修会に参加して

罇 奈都美

新潟支部生理研究班・新潟県臨床生理部門共催研修会に参加して

真嶋ちはる

輸血細胞治療部門の研修会に参加して

宇佐美宏晃

臨床微生物部門研修会に参加して

近藤 千草

組織強化セミナーに参加して

国井 康子

【ペンリレー】

検査技師として～私の奮闘記～

藤原ゆう子

検査技師として～私の奮闘記

原山 翔太

【会 報】

平成27年度 3月常任理事会議事録

平成28年度 第1回理事会議事録

平成28年度 第2回理事会議事録

27年度 監査報告書

お詫びとお知らせ

平成28年度第1回通常総会からアンケート回答

新臨技会日誌

【行事予定】

301号 平成28年10月1日

【講 義】 輸血検査の基礎知識

笹岡 悠一

検査室でできる亜型検査

古俣 妙

【研修会参加報告】

輸血細胞治療部門研修会に参加して

荒木 晴香

輸血検査実技講習会に参加して

佐藤 麻実

佐渡支部研修会に参加して

披田野翔平

下越支部研修会に参加して

小林 裕真

生理検査基礎セミナーに参加して

松田 佳代

【認定技師資格紹介】日本救急医学会認定「ICLS コース」について

末永 有香

【施設紹介】

末広橋病院

田辺奈保子

【ペンリレー】

中村 岳史

【検査技師として～私の奮闘記～】

検査技師として～私の奮闘記～

貝沼 宏樹

検査技師として～私の奮闘記～

寺尾 勇祐

検査技師として～私の奮闘記～

内山 絢乃

【会 報】

平成28年度 第3回理事会議事録

平成28年度 第4回理事会議事録

新入会員紹介

新臨技会日誌

【行事予定】

302号 平成29年1月1日

【あいさつ】年頭のご挨拶

渡邊 博昭

【講 義】ISO15189認定取得について

井汲 善浩

血圧脈波検査の各種指標について

神保 俊介

【研修会参加報告】

臨床血液部門実技研修会に参加して

保田 剛史

超音波実技セミナーに参加して

武藤亜紗子

超音波実技セミナーに参加して

阿部 健司

臨床一般検査部門研修会に参加して

北神優太郎

上越支部秋季研修会に参加して

片沼 和輝

第5回日臨技北日本支部医学検査学会に参加して

鎌田真由美

第5回日臨技北日本支部医学検査学会に参加して

吉田 彩

第5回日臨技北日本支部医学検査学会に参加して

坂内 政紀

【公益活動参加報告】

ピンクリボンホリデー2016に参加して

廣瀬 靖華

糖尿病を知るつどいに参加して

藤原ゆう子

新潟市民健康福祉まつりに参加して

細谷 大

無料 HbA1c 測定会に参加して

皆川 萌美

【認定資格紹介】

日本糖尿病療養指導士

【ペンリレー】

菅井 綾里

三原 早貴

【検査技師として～私の奮闘記～】

検査技師として～私の奮闘記～

土屋ひらり

検査技師として～私の奮闘記～

松永 梨沙

検査技師として～私の奮闘記～

安達 俊幸

検査技師として～私の奮闘記～

斎藤 真美

【会 報】

平成28年度第5回理事会議事録

平成28年度第6回理事会議事録

平成28年度第7回理事会議事録  
新入会員紹介  
技師会日誌  
【行事予定】

## 2) 新臨技ニュース

池上 喜久夫

理事会議事要旨、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性・実用性のある情報を掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を考慮し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。発行は理事会終了後の月1回とした。

## 3) 新臨技ホームページ

近藤 善仁

新臨技ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき好評である。

昨年度、リニューアルした検査研究部門のページは、一部部門を除きほとんど更新することがなかった。精度管理事業の施設別報告値一覧は、昨年度同様 web 上にて公開した。

第5回日臨技北日本支部学会の公式サイトを公開・運用した。

### 【主要行動報告】

1. 北里大学保健衛生専門学院入学式に坂西副会長出席（4月6日）
2. 新潟医療技術専門学校入学式に桑原副会長出席（4月7日）
3. 編集委員会開催（4月13日）
4. 第1回表彰委員会（4月16日）
5. 学術部会議開催（4月16日）
6. 第1回理事会（4月16日）
7. ピンクリボンホリデー実行委員会へ佐藤理事出席（5月10日）
8. 篠川至賞選考委員会（5月14日）
9. 平成27年度技師会監査（5月19日）
10. 第2回理事会（5月22日）
11. 組織強化セミナー・平成28年度総会（5月22日）
12. 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ坂西副会長出席（5月23日）
13. 日臨技宮島会長施設訪問に桑原副会長同行（5月23日）
14. 健康寿命延伸フォーラム打ち合わせ会へ桑原副会長出席（6月6日）
15. 第3回理事会（6月18日）
16. 第1回精度管理委員会開催（6月21日）
17. 編集委員会開催（6月22日）
18. 新潟県細胞検査士会総会に渡邊会長出席（6月25日）
19. 新潟県健康づくり財団第13回定時評議会へ渡邊会長出席（6月29日）
20. 第8回新潟県救急搬送・受入協議会へ渡邊理事出席（7月5日）
21. 第4回理事会（7月9日）
22. 平成28年度第1回精度管理協議会会議に坂西副会長、高口理事出席（7月20日）
23. 平成28年度第1回北日本幹事会（札幌）に渡邊会長出席（7月22日）
24. 日臨技出版WGに坂西副会長出席（7月24日）
25. 健康寿命延伸フォーラムに関する打ち合わせ会に桑原副会長出席（7月27日）
26. 会計帳票について会計士と打合せに小柳事務局長出席（8月4日）

27. 新潟県臨床検査センター協議会（解散の集い）に渡邊会長出席（8月20日）
28. 新潟はっぴー乳ライフ実行委員会へ佐藤理事出席（8月23日）
29. 第5回理事会（8月27日）
30. 日臨技出版WG・災害対策検討委員会（第65回検査学会）に坂西副会長出席（9月2～4日）
31. 健康寿命延伸フォーラムに関する打合わせ会に桑原副会長出席（9月8日）
32. 連盟執行委員会（東京都）へ坂西副会長出席（9月10日）
33. 健康寿命延伸フォーラムに桑原副会長，諸橋理事参加（9月22日）
34. 第6回理事会（9月24日）
35. 編集委員会開催（9月28日）
36. 糖尿病関連イベント打合わせに佐藤理事出席（9月28日）
37. 北日本支部学会前日準備（9月30日）
38. 日臨技北日本支部医学検査学会（第5回）（10月1～2日）
39. 第33回がん征圧新潟県大会に坂西副会長出席（10月7日）
40. 日臨技宮島会長挨拶回りに桑原副会長同行（10月13日）
41. ピンクリボンホリデー2016にブース出展（10月16日）
42. 精度管理試料作製作業（10月20日）
43. 糖尿病を知る集いにブース出展（10月22日）
44. 精度管理試料発送作業（10月23日）
45. 第7回理事会（10月29日）
46. 日臨技教本シリーズ 臨床化学検査技術教本編集部に坂西副会長出席（11月6日）
47. 新潟県医師会設立記念大会に渡邊会長出席（11月12日）
48. 無料 HbA1c 測定会（新潟駅南キャンパスときめいと）を実施（11月12日）
49. 平成28年度新潟栄養・食生活学会第2回役員会に渡邊会長出席（11月18日）
50. 日臨技認定救急検査技師 認定試験に坂西副会長出席（11月20日）
51. 11月常任理事会（11月23日）
52. 第4回精度管理委員会（11月25日）
53. 全国検査健康展を上越市にて開催（11月26日）
54. 日臨技第1回災害対策ワーキンググループに坂西副会長出席（12月2日）
55. 第5回精度管理委員会開催（12月11日）
56. 第8回理事会（12月17日）
57. 編集委員会（12月26日）
58. 平成28年度新潟県生活習慣病検診等管理指導協会循環器等検診部に渡邊会長が出席（1月17日）
59. 平成28年度第2回臨床検査精度管理協議会に坂西副会長，高口理事が出席（1月20日）
60. 第9回理事会（1月21日）
61. 関連団体へ新年挨拶回り（1月23日）
62. H28年度第2回新潟県糖尿病対策推進会議に坂西副会長出席（2月10日）
63. 日臨技災害対策検討委員として第22回日本集団災害学医学会総会に坂西副会長出席（2月13日）
64. 第10回理事会（2月18日）
65. 新潟支部総会へ渡邊会長出席（2月19日）
66. 新潟県民医療推進協議会総会へ桑原副会長出席（2月24日）
67. 下越支部総会へ渡邊会長出席（2月25日）
68. 上越支部総会へ坂西副会長出席（2月25日）



69. 新潟市糖尿病対策推進会議へ佐藤理事出席（2月27日）
70. 精度管理調査検討会へ坂西副会長、齋藤理事、高口理事出席（3月2日）
71. 第9回新潟県臨床細胞学会研修会へ渡邊会長出席（3月4日）
72. 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催（3月4日～5日）
73. 新潟医療技術専門学校卒業式へ桑原副会長出席（3月8日）
74. 佐渡支部総会へ桑原副会長出席（3月11日）
75. 新潟医療福祉大学卒業式へ渡邊会長出席（3月14日）
76. 新潟県健康づくり財団第14回臨時評議会へ渡邊会長出席（3月14日）
77. 北里大学保健衛生専門学院卒業式へ坂西副会長出席（3月15日）
78. 第11回理事会（3月18日）
79. 編集会議開催（3月30日）

### 事業報告に関わる附属明細書

事業報告を補足する事項はない。

## 平成28年度収支決算報告

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,702,057	3,389,427	9,312,630
仮払金	0	872,260	△ 872,260
流動資産合計	12,702,057	4,261,687	8,440,370
2. 固定資産			
会館建設引当預金	15,268,000	15,268,000	0
共済基金	1,724,000	1,724,000	0
篠川至賞基金	11,103,423	11,102,707	716
固定資産合計	28,095,423	28,094,707	716
資産合計	40,797,480	32,356,394	8,441,086
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	8,021,000	0	8,021,000
流動負債合計	8,021,000	0	8,021,000
2. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,021,000	0	8,021,000
III. 正味財産の部			
一般正味財産	32,776,480	32,356,394	420,086
(うち特定資産への充当額)	(28,095,423)	(28,094,707)	(716)
負債及び正味財産合計	40,797,480	32,356,394	8,441,086

## 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	8,748,500	8,545,500	203,000
正会員受取会費	7,408,500	7,265,500	143,000
賛助会員受取会費	1,340,000	1,280,000	60,000
事業収益	1,896,750	3,249,000	△1,352,250
参加費収益	1,216,750	2,169,000	△952,250
会誌広告収益	680,000	1,080,000	△400,000
受取補助金等	1,718,000	1,812,606	△94,606
受取民間助成金	1,718,000	1,812,606	△94,606
雑収益	126,997	689,233	△562,236
受取利息	10,070	4,233	5,837
協賛金収益	3,612	685,000	△681,388
雑収益	113,315	0	113,315
<b>経常収益計</b>	<b>12,490,247</b>	<b>14,296,339</b>	<b>△1,806,092</b>
(2) 経常費用			0
事業費	7,178,495	10,985,341	△3,806,846
学会費	0	1,227,245	△1,227,245
運営費	697,140	909,328	△212,188
学術部活動費	1,995,275	2,991,969	△996,694
学術雑費	105,481	107,582	△2,101
臨床検査精度保証費	443,300	569,570	△126,270
会誌発行費	1,951,017	2,913,224	△962,207
広報編集費	359,060	489,350	△130,290
組織広報費	889,975	1,033,969	△143,994
災害対策費	0	0	0
準備費	0	81,519	△81,519
生涯教育表彰事業費	235,357	159,695	75,662
組織強化費	501,890	501,890	0
管理費	4,891,666	5,042,932	△151,266
備品費	0	0	0
消耗品費	100,739	78,449	22,290
印刷費	459,689	545,911	△86,222
通信費	340,764	734,721	△393,957
交通費	49,162	320,353	△271,191
渉外対策費	338,970	194,990	143,980
給料手当	619,000	636,728	△17,728
会議旅費	1,225,340	1,156,520	68,820

事務所維持管理費	1,222,760	1,165,430	57,330
電話費	95,744	109,286	△13,542
事務所雑費	10,725	7,239	3,486
交際費	24,570	93,305	△68,735
総会費	47,803	0	47,803
雑費	356,400	0	356,400
<b>経常費用計</b>	<b>12,070,161</b>	<b>16,028,273</b>	<b>△3,958,112</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	420,086	△1,731,934	2,152,020
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	420,086	△1,731,934	2,152,020
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	420,086	△1,731,934	2,152,020
一般正味財産期首残高	32,356,394	34,088,328	△1,731,934
一般正味財産期末残高	32,776,480	32,356,394	420,086
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	32,776,480	32,356,394	420,086

**正味財産増減計算書内訳表**  
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計					その他会計					法人会計	内部取引 消去	合計	
	検査学会 研修費	臨床検査精 度保証費	広報費	共通	小計	生涯教育表 彰事業費	組織 強化費	その他	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,748,500	0	8,748,500	
正会員受取会費					0					0	7,408,500		7,408,500	
賛助会員受取会費					0					0	1,340,000		1,340,000	
事業収益	1,216,750	0	680,000	0	1,896,750	0	0	0	0	0	0	0	1,896,750	
参加費収益	1,216,750				1,216,750					0	0		1,216,750	
会誌広告収益			680,000		680,000					0	0		680,000	
受取補助金等	1,518,000	200,000	0	0	1,718,000	0	0	0	0	0	0	0	1,718,000	
受取民間助成金	1,518,000	200,000			1,718,000					0	0		1,718,000	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,997	0	126,997	
受取利息					0					0	10,070		10,070	
協賛金収益					0					0	3,612		3,612	
雑収益					0					0	113,315		113,315	
<b>経常収益計</b>	<b>2,734,750</b>	<b>200,000</b>	<b>680,000</b>	<b>0</b>	<b>3,614,750</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8,875,497</b>	<b>0</b>	<b>12,490,247</b>	
(2) 経常費用														
事業費	2,797,896	443,300	3,200,052	0	6,441,248	235,357	501,890		0	737,247			7,178,495	
学会費	0				0					0			0	
運営費	697,140				697,140					0			697,140	
学術部活動費	1,995,275				1,995,275					0			1,995,275	
学術雑費	105,481				105,481					0			105,481	
臨床検査精度保証費		443,300			443,300					0			443,300	
会誌発行費			1,951,017		1,951,017					0			1,951,017	
広報編集費			359,060		359,060					0			359,060	
組織公報費			889,975		889,975					0			889,975	
災害対策費			0		0					0			0	
準備費					0					0			0	
生涯教育表彰事業費					0	235,357				235,357			235,357	
組織強化費					0		501,890			501,890			501,890	
管理費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,891,666		4,891,666	
備品費										0	0		0	
消耗品費										0	100,739		100,739	
印刷費										0	459,689		459,689	
通信費										0	340,764		340,764	
交通費										0	49,162		49,162	
渉外対策費										0	338,970		338,970	
給料手当										0	619,000		619,000	
会議旅費										0	1,225,340		1,225,340	
事務所維持管理費										0	1,222,760		1,222,760	
電話費										0	95,744		95,744	
事務所雑費										0	10,725		10,725	
交際費										0	24,570		24,570	
総会費										0	47,803		47,803	
雑費										0	356,400		356,400	
<b>経常費用計</b>	<b>2,797,896</b>	<b>443,300</b>	<b>3,200,052</b>	<b>0</b>	<b>6,441,248</b>	<b>235,357</b>	<b>501,890</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>785,050</b>	<b>4,891,666</b>	<b>0</b>	<b>12,070,161</b>	
評価損益等調整前当期経常増減額	△63,146	△243,300	△2,520,052	0	△2,826,498	△235,357	△501,890	0	0	△737,247	3,983,831	0	420,086	
基本財産評価損益等					0					0			0	
特定資産評価損益等					0					0			0	
投資有価証券評価損益等					0					0			0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△63,146	△243,300	△2,520,052	0	△2,826,498	△235,357	△501,890	0	0	△737,247	4,031,634	0	420,086	
2. 経常外増減の部														
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額					0					0			0	
当期一般正味財産増減額	△63,146	△243,300	△2,520,052	0	△2,826,498	△235,357	△501,890	0	0	△737,247	4,031,634	0	420,086	
一般正味財産期首残高					0					0			32,356,394	
一般正味財産期末残高												0	32,776,480	
II 指定正味財産増減の部														
III 正味財産期末残高													32,776,480	

# 財 産 目 録

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	251,530	
普通預金		
第四銀行臨港支店	12,262,973	
ゆうちょ銀行	187,554	
流動資産合計		12,702,057
2. 固定資産		
会館建設引当預金		
第四銀行臨港支店（定期）	10,000,000	
ゆうちょ銀行（定額5口）	5,268,000	
共済基金		
ゆうちょ銀行（定額3口）	1,724,000	
篠川至賞基金		
北越銀行県庁支店（定期）	5,002,423	
ゆうちょ銀行（定額3口）	6,101,000	
固定資産合計		28,095,423
資産合計		40,797,480
II. 負債の部		
1. 流動負債		
前受金 H29年度新臨技会費	8,021,000	
流動負債合計		8,021,000
2. 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		8,021,000
正味財産		32,776,480

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	-	-	-	-
特定資産				
会館建設引当預金	15,268,000			15,268,000
共済基金	1,724,000			1,724,000
篠川至賞基金	11,102,707	716		11,103,423
小 計	28,094,707	716		28,095,423
合 計	28,094,707	716		28,095,423

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小 計	-	-	(-)	-
特定資産				
会館建設引当預金	15,268,000	-	(15,268,800)	-
共済基金	1,724,000	-	(1,724,000)	-
篠川至賞基金	11,103,423	-	(11,103,423)	-
小 計	28,095,423	-	(28,095,423)	(-)
合 計	28,095,423	-	(28,095,423)	(-)

### 4. 助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

助成金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
受取検査学会研修助成金	日本臨床衛生検査技師会	0	1,518,000	1,518,000	0	
受取臨床検査精度保証助成金	新潟県医師会	0	200,000	200,000	0	
合 計		0	1,718,000	1,718,000	0	

## 計算書類に係わる附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」及び注記3「基本財産及び特定資産の財源等の内訳」に記載しているため省略する。



## 【上越支部】

### 1) 秋季研修会

第107回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20 参加会員数40名）

日時：平成28年9月17日（土） 会場：厚生連上越総合病院 2階講堂

・講演1 「厚生労働省平成27年度医療技術国際展開推進事業に参加して」

糸魚川総合病院 渡辺 直樹 先生

・「当院における超音波気管支鏡ガイド下肺生検の現状  
～超音波気管支鏡による縦隔領域へのアプローチ」

県立中央病院 上原 桂月 先生

・講演2 「後天性血友病 A の一症例」

県立中央病院 小坂橋重紀子 先生

・「熊本地震震災支援行動派遣報告」

魚沼病院 寺島 健 先生

### 2) 春季研修会

第108回上越支部研修会（生涯教育認定 専門20 参加会員数55名）

日時：平成29年2月25日（土） 会場：新潟県教職員互助会館 高陽荘

・講演1 「検査における接遇の基本、～心を動かす患者さん対応～」

アボットジャパン株式会社 山田 逸枝 先生

・講演2 「カラダの健康とプロバイオティクス（乳酸菌）」

株式会社ヤクルト本社 早川 和仁 先生

### 3) 検体検査研究班（生涯教育認定 専門20 参加会員数19名）

日時：平成29年1月23日（月） 会場：厚生連けいなん総合病院

演題・「抗酸菌の検査について 塗抹検査から遺伝子検査まで」 株式会社 BML 霧島 正浩 先生

### 4) 形態検査研究班

第1回（生涯教育認定 専門20 参加会員数19名）

日時：平成28年6月17日（金） 会場：県立中央病院

演題 「適切な ALK 検査のための検体採取と標本作成」

中外製薬 e セミナー

第2回（生涯教育認定 専門20 参加会員数37名）

日時：平成28年8月29日（月） 会場：県立中央病院

演題 「凝固検査の知っておきたい基礎知識（PT・APTT・Fbg について）」

積水メディカル株式会社 安田 貴志 先生

第3回（生涯教育認定 専門20 参加会員数15名）

日時：平成28年11月30日（水） 会場：県立中央病院

内容：「細胞診症例検討の研修会」

### 5) 生理検査研究班（生涯教育認定 専門20 参加会員数21名）

日時：平成28年11月17日（木） 会場：新潟労災病院

演題 「脳波計ペン交換方法・術中 MEP/SEP とは」

日本光電工業 亀井 繁美 先生

日本光電北関東 高橋 侑嗣 先生

### 6) 地域保健活動

① 第52回上越糖尿病内分泌研究会

日時：平成28年6月9日（木） 会場：上越市市民プラザ

② 第38回上越循環器談話会

日時：平成28年11月29日（火） 会場：やすね

7) 通常総会（生涯教育認定 基礎30 参加会員数48名）

日時：平成29年2月25日（土） 会場：高陽荘

内容：平成28年度活動報告および会計報告

平成29年度事業計画および予算

8) 支部役員会議

2016年（平成28年）

4月28日（木） 定例役員会

5月26日（木） 定例役員会（拡大）

6月23日（木） 定例役員会

7月21日（木） 定例役員会

8月25日（木） 定例役員会

9月29日（木） 定例役員会

10月20日（木） 定例役員会

11月16日（水） 定例役員会

12月21日（水） 定例役員会

2017年（平成29年）

1月19日（木） 定例役員会（拡大）

2月23日（木） 定例役員会

\* 計11回の役員会議を開催

【中越支部】

《学術》

1) 平成28年度中越支部講演会〔生涯教育認定 基礎20 参加33名〕

平成28年2月27日（土） 14：00～16：30

立川総合病院 多目的施設 きぼう 3F 講堂

講演1 「アロマセラピーを楽しむ」

講師 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室 小林 清子 先生

講演2 「厚生労働省平成27年度医療技術国際展開推進事業に参加して」

講師 厚生連柏崎総合医療センター 検査科 渡辺 直樹 先生

2) ふれあい研修会

平成28年度は、新潟県が北日本医学検査学会の開催担当だったため開催せず

《学術支援事業》

平成29年度も本事業を行う予定ですので、研修会、勉強会等を開催する場合は、お声かけ頂きたいです。

《組織》

1) 平成28年度中越支部通常総会〔生涯教育 基礎30 参加26名〕

平成28年2月27日（土） 16：30～17：30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう3F 講堂

議長 梅沢 政功 技師（長岡西病院）

議事 ① 平成27年度事業・決算・監査報告

② 平成28年度事業計画・予算案提案

以上の議案について審議され、原案通り承認された。

2) パパの健康チェック〔生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師15名〕

平成28年6月19日（日） 11：00～15：30 リバーサイド千秋

主催：ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

会場来場者に血糖測定及びCO測定……………150名

3) 中越支部フォーラム〔生涯教育 基礎20 参加23名〕

平成28年7月16日(土) 14:00~16:00

立川総合病院 多目的施設 きぼう 3F 講堂

参加費 会員500円 非会員2000円

講演1 「熊本地震災害支援行動報告」

講師 厚生連魚沼病院 検査科 寺島 健 先生

講演2 「知って得する、臨床検査の話～診療報酬虎の巻～」

講師 シーメンス・ヘルスケアダイアグノスティックス株式会社

営業企画本部 営業企画部 松尾 久昭 先生

4) “すこやかともしびまつり 2016”〔生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師25名〕

平成28年9月17日(土)・18日(日) 両日 10:00~16:00

アオーレ長岡 一般市民来場者 17,000名

主催：長岡市

肺年齢測定……………900名

5) 糖尿病を知るつどい〔参加ボランティア技師5名〕

平成28年10月1日(土) 12:00~15:30 長岡リリックホール(シアター)

主催：長岡市医師会

来場者 331名

来場者の血糖値測定……………150名

6) 世界糖尿病デーin長岡〔生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師15名〕

平成28年11月13日(土) 12:00~16:00

主催：長岡市医師会

来場者 約170名

来場者のHbA1c測定 70名(先着)

来場者の血糖測定 20名

《広報》

県技師会のサイトにある支部ページを適宜更新し、研修会や学術支援事業の情報を公開した。本年度の情報紙「やまあい」を、132号(平成28年3月28日発行、掲載)、133号(平成29年2月18日発行・掲載)を発行した。昨年度および本年度の「やまあい」の発行が年1回とタイムリーな情報提供が出来ていなかった。

今後は、行事予定や情報誌など会員の皆様へ有益な情報をタイムリーに発信続けられるように努めていきたい。[新臨技ホームページ] アドレス <http://www.sinringi.or.jp/>

【下越支部】

<研修会等>

(1) 第1回支部研修会

日時：平成28年7月23日(土) 14:00~16:30

場所：新潟医療福祉大学 顕微鏡室 N511 (第6研究・実習棟 N棟5F)

内容：「今さら聞けない検査の基本2016-尿沈渣鏡検出前研修会-下越支部編」

共催：新臨技臨床一般部門

講師 新臨技臨床一般部門長 小野 篤史 技師(済生会新潟第二病院)

部門員 計良 政裕 技師 (労働衛生医学協会)

部門員 白川千恵子 技師 (新潟医療技術専門学校)

参加者：32名 (会員31名, 入会申請中1名)

生涯教育認定 基礎20点

(2) 第2回支部研修会

日時：平成28年12月3日(土) 14:00~16:30

場所：(一財)下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「病院の情報セキュリティ」

講師 株式会社ITスクエア 須田 敦 部長

参加者：23名 (会員17名, 非会員6名)

生涯教育認定 基礎20点

(3) 第3回支部研修会および総会

日時：平成29年2月25日(土) 14:00~17:00

場所：(一財)下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容：「血液浄化療法について HD・PD・LDL 吸着」

講師 中野 達也 臨床工学科長 (新光会 村上記念病院)

参加者：32名 (会員26名, 非会員6名)

生涯教育認定 基礎20点

内容：「下越支部通常総会」

参加者：22名

生涯教育認定 基礎30点

<下越支部理事会>

今年度は、支部研修会打合せ等で5回開催した。

第1回理事会 平成28年4月13日(水) 16:00~下越総合健康開発センター 会議室

第2回理事会 平成28年6月15日(水) 16:00~下越総合健康開発センター 会議室

第3回理事会 平成28年8月24日(水) 16:00~下越総合健康開発センター 会議室

第4回理事会 平成28年11月16日(水) 16:00~下越総合健康開発センター 会議室

第5回理事会 平成29年2月15日(水) 16:00~下越総合健康開発センター 会議室

【佐渡支部】

1. 研修会

1) 夏季研修会 (専門-20) 参加23名

日時：平成28年7月16日(土) 14時~ (受付 13時30分~)

会場：潮津の里

内容：1. 講演「不整脈と治療」

講師 日本光電北関東株式会社 循環器営業部 臨床工学技士 河村 能昌 先生  
座長 佐渡総合病院 宮崎 勝吉

2. 講演「プレセプシンと敗血症 DIC」

講師 株式会社 LSI メディエンス 診断薬事業本部学術部 馬場 光広 先生  
座長 佐渡総合病院 笠井恵美子

2) 秋季研修会 (専門-20) 参加29名 (非会員1名)

日時：平成28年12月10日(土) 13時30分~ (受付 13時~)

会場：佐渡総合病院講堂

内容：1. 一般演題

- |   |   |                  |       |
|---|---|------------------|-------|
| ① | ルシカ GA-L の性能評価                          | 佐渡総合病院           | 林 春紀  |
| ② | 定量用尿コントロールライフォチェックー貯法の違いによる安定性の検討ー      | 佐渡総合病院           | 林 春紀  |
| ③ | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の症例                      | 佐渡総合病院           | 小柳 洸士 |
| ④ | Arcanobacterium haemolyticum による敗血症の一症例 | 佐渡総合病院           | 小宮山謙一 |
| ⑤ | 緊急輸血を必要とした Rhnull 症例                    | 佐渡総合病院           | 山本 泰子 |
| ⑥ | 特定保健指導の効果検証                             | 労働衛生医学協会佐渡検診センター | 本間 正仁 |
| ⑦ | 羽茂病院のこれまでとこれからと                         | 羽茂病院             | 山田 将也 |
|   |   | 座長 佐渡総合病院        | 宮崎 勝吉 |

2. 講演1 「DMAT の活動研修 (コメディカルの活動は?)」

講師 佐渡総合病院 宮崎 勝吉 技師  
座長 佐渡総合病院 笠井恵美子

講演2 「基礎から学ぼう血液検査 検体採取・測定・結果解釈のポイント」

講師 シスメックス株式会社北関東支店学術サポート課 林 文明 先生  
座長 佐和田病院 石塚 文枝

3) 佐渡支部研修会 (専門-20) 参加25名 (非会員2名)

日時：平成29年3月11日 13時30分～ (受付 13時～)

会場：佐渡検診センター

- 内容：1. 「ジオパークってなあに？」 講師 佐渡ジオパーク推進協議会 相田 満久 先生  
座長 佐渡総合病院 笠井恵美子
2. 「腹部超音波検査の基本」 講師 佐渡総合病院 宮崎 勝吉 技師  
座長 佐和田病院 石塚 文枝

2. 公益活動, その他

1) 平成28年度佐渡支部総会 (基礎-30) 参加25名

日時：平成29年3月11日 16時00分～ 会場：佐渡検診センター

2) 佐渡糖尿病ウォークラリー 日時：平成28年6月12日 (参加ボランティア4名)

3) 糖尿病を知る集い 日時：平成28年11月12日 (参加ボランティア5名)

4) 定例役員会

第1回定例役員会 平成28年5月6日

第2回定例役員会 平成28年7月16日

第3回定例役員会 平成28年9月16日

第4回定例役員会 平成28年11月10日

第5回定例役員会 平成28年12月10日

第6回定例役員会 平成29年2月8日

【新潟支部】

1. 研修会

【平成27年度 第2回新潟支部研修会】 2016年2月27日

参加人数：30名

- |   |                       |                            |
|---|-----------------------|----------------------------|
| ① | 介護保険制度について            | 高橋 明彦 先生 (新潟市介護保険課)        |
| ② | 薬物依存症の息子を抱えて          | 小西 憲 先生 (新潟県薬物依存症者を抱える家族会) |
| ③ | (一財)新潟市母子福祉連合会の活動について |                            |

三浦 聖子 先生他 ((一財) 新潟市母子福祉連合会)

【平成28年度 第1回新潟支部研修会】2016年7月23日

参加人数：24名

- ① ISO15189認証取得について 井汲 善浩 先生 (ロシュダイアグノスティックス株式会社)
- ② 新潟支部の特徴を生かした技師のキャリア開発  
高野 操 先生 (国立大学法人 新潟大学医歯学総合病院)

(臨床化学研究班)

【第5回新潟支部臨床化学班研修会】2016年7月2日

参加人数：24名

- ① 透析療法について 渡辺 文弥 先生 (日機装株式会社)
- ② 透析患者の検査目標値について 高橋佳菜子 先生 (国立大学法人 新潟大学医歯学総合病院)
- ③ 実際の運用状況について 高橋 裕輔 先生 (新潟医療生活協同組合 木戸病院)

【第6回新潟支部臨床化学班研修会】2016年12月10日

参加人数：63名

- ① テーマ「再検はどこまでやるか?」～コントロール編～  
「精度管理の基礎」 原 敬志 先生 (シスメックス株式会社北関東支店学術サポート課)
- ② テーマ「再検はどこまでやるか?」～検体編～  
「個別検証による無駄な検査の削減」 千葉 正志 先生 (東京都臨床検査技師会代表理事会長)

(血液研究班)

【第62回血液研究班研修会】2017年2月9日

参加人数：31名

- ① 血球形態の見方・考え方・報告の仕方  
林 文明 (シスメックス株式会社 北関東支店学術サポート課)

(生理研究班)

【平成27年度新潟支部生理研究班 研修会】(新臨技生理部門共催) 2016年2月28日

参加人数：106名

- ① 心電図所見に対する心エコー検査の評価ポイント  
小林 紘子 先生 (新潟大学医歯学総合病院検査部)
- ② 心電図検査の医・路・波 —検査の進め方から精度管理まで—  
富原 健 先生 (帝京大学医学部附属病院中央検査部)
- ③ 心電図を観る —波形の成り立ち・自動診断のピットホール—  
池主 雅臣 先生 (新潟大学医学部保健学科教授)

【平成28年度 新潟支部生理研究班研修会 第1回】2016年9月30日

参加人数：29名

- ① ペースメーカーの基礎と臨床 齋藤 修 先生 (新潟大学医学部保健学科)
- ② 血圧脈波検査 (ABI・PWV) の基礎、検査の実際  
富原 健 先生 (帝京大学医学部附属病院中央検査部)

(一般検査研究班)

【第39回新潟支部一般検査研修会】2016年3月11日

参加人数：27名

- ① スライドカンファレンス提示 西江 良介 先生（済生会 新潟第二病院）
- ② 尿検査試験紙の最近の話題 宮澤 俊郎 先生（シーメンスHCD）
- ③ スライドカンファレンス解答 西江 良介 先生（済生会 新潟第二病院）

【第40回新潟支部一般検査研修会】2016年08月4日

参加人数：26名

- ① スライドカンファレンス提示 白川千恵子 先生（新潟医療技術専門学校）
- ② 一般検査初心者に必要な基礎知識～尿検査・髄液検査～  
河野 良平 先生（新潟勤労者医療協会 下越病院）
- ③ スライドカンファレンス解答 白川千恵子 先生（新潟医療技術専門学校）

【平成28年度第3回新臨技臨床一般部門・新潟支部一般検査研究班合同研修会】2016年11月20日

参加人数：26名

- ① 尿化学検査の基礎から尿中バイオマーカーの動向まで 石澤 毅士 先生（慶應義塾大学病院）
- ② 症例データをどう考えるか 菊池 春人 先生（慶應義塾大学医学部臨床検査医学）

（病理技術研究班）

【第38回 新潟病理技術研究会】（新臨技病理部門共催）2016年7月2日

参加人数：33名

- ① ハイクロソフト水生成装置の紹介 齋藤 靖宏 先生（自井松機器株式会社）
- ② 病理システム「パソトピア」とスライド、カセットプリンターの紹介  
吉川 祐援 先生（武藤化学株式会社）
- ③ 病理の医療安全について 島田 直樹 先生（聖マリアンナ医科大学病院）
- ④ 病理解剖業務の実際と注意点 内藤 眞 先生（新潟医療センター）
- ⑤ 剖検介助業務の実際と一工夫 長谷川秀浩 先生（JA 新潟県厚生連 新潟医療センター）
- ⑥ 剖検介助業務の実際と一工夫 坂本 直喜 先生（信楽園病院）
- ⑦ 剖検介助業務の実際と一工夫 樋口 忠博 先生（新潟市民病院）

（微生物検査研究班）

【第126回新潟支部微生物研究会】2016年09月10日

参加人数：30名

- ① CLSIについて学ぼう！ ～はじめの一歩～  
鎌田真由美 先生（新潟医療生活協同組合 木戸病院）
- ② 細菌の血清型別について 前側 恒男 先生（デンカ生研株式会社）

（公益活動, その他）

【平成28年一般社団法人新潟県臨床検査技師会新潟支部総会】2016年2月27日

参加人数：28名

【第19回新潟市民健康福祉まつり 健康ひろば】2016年10月16日

参加人数：13名

## 2. 総会及び幹事会

1) 支部定期総会・第1回新潟支部幹事会 平成28年2月27日(土)

新潟大学医歯学総合病院 12階 大会議室

- |          |         |                |        |               |
|----------|---------|----------------|--------|---------------|
| 2) 第2回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年3月16日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 3) 第3回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年4月20日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 4) 第4回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年5月18日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 5) 第5回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年6月15日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 6) 第6回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年7月20日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 7) 第7回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年9月14日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 8) 第8回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年10月12日(水) | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 9) 第9回   | 新潟支部幹事会 | 平成28年11月16日(水) | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 10) 第10回 | 新潟支部幹事会 | 平成28年12月21日(水) | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 11) 第11回 | 新潟支部幹事会 | 平成29年1月25日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |
| 12) 第12回 | 新潟支部幹事会 | 平成29年2月15日(水)  | 18:30~ | 新潟県臨床検査技師会事務所 |



一般社団法人新潟県臨床検査技師会  
平成29年度事業計画

会長

渡邊 博昭

平成29年度は役員改選年度であるが、新たな体制の下、基本的には事業をそのまま引き継ぎ、とどこおりなく会務を遂行したい。

新規または重要な事業を下記の通り計画する。

総務部

- ① 一般社団法人移行に伴っての問題点を検証する。
- ② 新しい規定および手順書の検証をする。

学術部

- ① 第91回新潟県臨床検査学会の企画・運営を行う。
- ② 認知症領域に関わる講習会の開催を検討する。
- ③ 検査研究部門活動の助成金申請を20研修会申請する。

広報部

- ① ホームページのさらなる充実を図る。

## 1. 会務の執行体制

平成29年度は役員改選期にあたるため、円滑な業務運営を進めるうえで、各種規定・マニュアル等の周知に努めたい。

また、活動の要である事務局機能は、各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービスの向上に努めたい。組織強化の面からは、日臨技、北日本支部、新臨技支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制を整えたい。

## 2. 諸会議

### 1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年12回（理事会・常任理事会）を開催したい。

### 2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

### 3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っており、本年度も更に活発に運営して行きたい。

災害支援マニュアルにある災害支援メーリングリストは、災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものであり、会員登録者を増やしていきたい。

## 3. 組織対策

### 1) 臨床検査セミナー

毎年、第1回通常総会と同時開催している臨床検査セミナーは、技師会事業として定着している。内容も市民公開講座による臨床検査技師のアピールや、臨床検査技師の卒後教育等を企画し自己研鑽の場として今後も積極的に開催していきたい。

### 2) 各支部との連携

各支部持ち回りの秋の学会開催については、会場確保および参加人数等の問題もあり、今年度から新潟市で開催することでの充実を図り、学術部と支部の連携のもとに多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

### 3) 入会対策

益々厳しくなる医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大と成熟が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保して行きたい。

また、臨床検査技師の地位向上および職域拡大を進めるためにも、臨床検査技師連盟への入会促進に積極的に働きかけていく。

## 4. 公益活動（地域保健医療活動）

一般社団法人として、県民の保健・医療・公衆衛生の更なる向上を目指すべく、臨床検査技師の社会貢献に取り組み、日臨技の事業および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

## 5. 求人情報の提供

求人情報の提供として日臨技への情報登録に留め、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供したい。

## 6. 表彰関係

### 1) 篠川至賞

平成29年度で第35回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。検査研究部門からも情報協力

いただき、各支部からの積極的な推薦のうえ表彰する。

## 2) 会長表彰

特別功勞表彰、永年会員功勞表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審査を経て、毎年の通常総会において表彰する。

## 3) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求めべく、分野に関わらず最多得点者の上位3名を推薦する。

## 4) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点修了者を表彰する。

## 学術部

副会長 桑原 喜久男

第91回新潟県臨床検査学会を12月17日、新潟テルサにて開催する。多くの会員から一般演発表をお願いしたい。検査研究部門は新潟県臨床検査学会において教育セミナー等の企画、運営を担当いただく。精度管理は新臨技HPを活用しサーベイ結果の閲覧可能となった。より事務手続き等の簡素化を図りたい。日臨技の生涯教育推進事業は20研修会の申請を目指して活動を行う。日臨技より平成29年度より勧められる認知症対応向上講習会を新潟県で開催できるように準備を進める。

### 1. 学会

桑原 喜久男

第91回新潟県臨床検査学会を12月17日（日）、新潟テルサを会場に開催する。多くの会員より一般演題の発表をお願いしたい。県学会を経験し、北日本支部学会、日本医学検査学会へとその発表の場を広げていけるように努めていただきたい。日臨技が進める検査説明・相談事業、病棟業務事業、認知症関連事業と多くの事業が進められているが、会員へこれら事業の目的、向かう方向等を日臨技執行理事から伺える機会を設け、将来の臨床検査技師像を考える機会とした。

### 2. 検査研究部門

池亀 央嗣

検査研究部門が行う各種研修会は、技師会において最も重要な活動のひとつである。医療制度や各分野における検査技術は大きく変化し、新たな知識や技術を臨床検査技師が習得していくことは極めて重要である。これらの知識や技術を学ぶ各種研修会の果たす役割は大きい。

検査研究部門は、前年度に再編され、生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門（神経生理分野、呼吸・循環生理分野、超音波分野）、臨床検査総合部門の9部門3分野となった。今年度は、新体制2期目となる。

各部門の活動費は12万円、各分野は8万円とし、当事者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度の参加費で運営経費を補完する。非会員の研修会参加費は、会員の3倍とし、会員利益と活動費補完をはかる。また、参加は会員優先とし特に人気の高い実習形式研修会では会員に不利益が生じないものとする。

研修会の内容は、若手技師や認定技師等の資格取得教育、最新情報などを考慮して、様々な状況にある会員に有用な情報をバランスよく発信できるような体制を整備する。

技術や知識が複数の分野に係る内容に関しては、複数部門での合同研修会や相互補完研修会を企画する。各研究部門と協力し、系統的な人材育成や生涯教育を行い、魅力ある学術活動を目指したい。研修会の形式は、講演に加えて、実習形式による研修会を推進する。また、日臨技や支部での研修会を伝達する形式での研修会も奨励する。

研究部門や支部との連絡を密に行い、会員が他分野など多くの研修会に参加し、幅広い知識や技術を習得で

きるよう、研修会開催日の重複を避け、開催地の地域格差を軽減する。

若手技師に対する学会発表や論文執筆などの技術的サポート体制を整備し、県学会や支部学会、全国学会での学会発表、医学検査をはじめとする学術雑誌への論文投稿を推進したい。前年度までの2期4年間は、第63回日本医学検査学会、平成28年度日臨技北日本支部医学検査学会（第5回）と大きな学会が続いた。これらの経験を生かして、活発な学術活動を展開していきたい。

### 3. 精度管理事業

坂西 清

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、会員の技術向上に重要な事業であるという位置づけで本年度も積極的に協力していく。

今年は、近年、課題となっている HbA1c の試料を全血で実施するための検討及び実施をしていきたい。また、昨年、行ったサーベイで明らかになった集計方法などの問題点を日臨技と連携を取りながら解決していきたい。

本年度も臨床化学、微生物、血球計算、一般フォトサーベイをさらに充実させ実施を予定している。平成19年度より日臨技データ標準化事業がスタートし、それを踏まえ実施項目を増やし、標準物質が入手可能な項目については随時評価を行ってきたが、本年度もそれらに努めたい。

日臨技の「臨床検査室精度保証認証制度」についても今年度は多くの施設が申請を行なっていただくように啓発を進めていきたい。

### 4. 生涯教育

近藤 善仁

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。本年度は役員交代の年であり、新役員の方は JAMTIS の運用に戸惑うことも多いので、県担当理事との連携を密にし、円滑な事業の推進に努めていく。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓発活動などに対して生涯教育行事登録を行い、活動を支援していく。

昨年度同様、「生涯教育推進研修会助成金」の申請を行い、助成金の支援を促していく。

### 広報部

副会長 坂西 清

今年度も新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページの3本柱での運営を通して全会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。また、今年度は、より会員に見てもらえるようなホームページの運用を検討し、魅力あるホームページの運用を検討していきたい。

県理事、各支部理事および会員全員で情報の共有化を尚一層強化するためにも、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページを充実させ、会誌やホームページの充実に熱意を持って取り組んでいきたい。

### 1) 新臨技会誌

齋藤 功英

会誌発行は303号から306号までの年4回季刊発行を予定する。〔講義・研究〕は多分野に渡り基礎的内容から技術革新に取り組んだ内容を掲載していきたい。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁としたい。〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、誰もが参加できる頁としたい。〔公益活動報告〕を掲載することにより、多くの会員に活動を知っていただき、ボランティア参加への啓発ツールとして掲載していきたい。

## 2) 新臨技ニュース

池上 喜久夫

理事会議事録, 組織活動, 研修会案内, 求人情報など速報性・実用性のある内容を掲載していきたい。また, 読みやすいレイアウトになるように心がけるとともに, 今後も広く会員に読まれるよう工夫していきたい。発行は月1回とし, 理事会終了後, 速やかに発行できるよう努めたい。

## 3) 新臨技ホームページ

近藤 善仁

新臨技ホームページは, 案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できることより, 世代を問わず多くの会員から好評を得ている。今後も有意義な情報提供ができるよう尽力していく。

当技師会は, 大規模災害時に備え災害時緊急連絡システム(メーリングリスト)を構築しているが, 登録者数が伸び悩んでおり会員の10%にも満たない現状である。引き続き一人でも多くの会員の登録をお願いしたい。(詳細は県技師会ホームページ参照)

## 平成29年度収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	8,430,000	8,430,000	0	
正会員受取会費	7,150,000	7,150,000	0	130名×5500
賛助会員受取会費	1,280,000	1,280,000	0	64社
事業収益	3,800,000	2,100,000	1,700,000	
参加費収益	2,800,000	1,500,000	1,300,000	学会参加費300名×2000, 検査研究部門参加費, 法人化事業参加費100名×10000
会誌広告収益	1,000,000	600,000	400,000	会誌広告, 名簿広告
受取補助金等	1,200,000	1,200,000	0	
受取民間助成金	1,200,000	1,200,000	0	日臨技, 県医師会
雑収益	205,000	5,000	200,000	
受取利息	5,000	5,000	0	
協賛金収益	100,000	0	100,000	学会展示
雑収益	100,000	0	100,000	祝儀等
<b>経常収益計</b>	<b>13,635,000</b>	<b>11,735,000</b>	<b>1,900,000</b>	
(2) 経常費用				
事業費	10,170,000	8,520,000	1,650,000	
学会費	1,000,000	0	1,000,000	第91回新潟県学会
運営費	1,000,000	1,000,000	0	臨床検査セミナー
学術部活動費	2,500,000	2,500,000	0	研究部門活動費
学術雑費	120,000	120,000	0	源泉徴収税等
臨床検査精度保証費	450,000	450,000	0	新潟県精度管理事業
会誌発行費	2,800,000	2,000,000	800,000	会誌4号, 会員名簿
広報編集費	700,000	700,000	0	広報委員会, HP 維持管理費
組織公報費	700,000	700,000	0	各支部公益事業負担
災害対策費	200,000	200,000	0	
準備費	0	150,000	△ 150,000	管理費(総会費)へ移行
生涯教育表彰事業費	100,000	100,000	0	賞状作成費等
組織強化費	600,000	600,000	0	各支部助成金
管理費	8,130,000	5,780,000	2,350,000	
備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	文房具, 封筒
印刷費	600,000	550,000	50,000	各種案内
通信費	700,000	700,000	0	案内発送
交通費	350,000	350,000	0	日臨技, 北日本会議
渉外対策費	300,000	300,000	0	関連団体, 支部対策
給料手当	650,000	650,000	0	事務職員

会議旅費	1,000,000	1,000,000	0	理事会旅費
事務所維持管理費	1,750,000	1,600,000	150,000	賃貸料, 電気代
電話費	120,000	120,000	0	
事務所雑費	30,000	30,000	0	
交際費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
総会費	150,000	0	150,000	
法人化記念事業費	2,000,000	0	2,000,000	
雑費	30,000	30,000	0	
<b>経常費用計</b>	<b>18,300,000</b>	<b>14,300,000</b>	<b>4,000,000</b>	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,665,000	△ 2,565,000	△ 2,100,000	
基本財産評価損益等				
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
評価損益等計				
当期経常増減額	△ 4,665,000	△ 2,565,000	△ 2,100,000	
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額				
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 4,665,000	△ 2,565,000	△ 2,100,000	
一般正味財産期首残高	29,791,394	34,088,328	△ 4,296,934	
一般正味財産期末残高	25,126,394	31,523,328	△ 6,396,934	
II 指定正味財産増減の部				
III 正味財産期末残高	25,126,394	31,523,328	△ 6,396,934	